

生涯教育研修活動報告書

細胞検査研究班

- 1 実施日時：2023年5月15日 18時00分～19時00分
- 2 会場：Web開催 教科・点数：専門教科－20点
- 3 主題：知らなきゃ損！？Part12 ～新人さん必見！標本作製と細胞診染色～
- 4 講師：小川 弘美（社会医療法人財団石心会 埼玉石心会病院）
野本 伊織（埼玉県済生会川口総合病院）
- 5 協賛：なし
- 6 参加人数：会員 197名 賛助会員 0名 非会員 0名
- 7 出席した研究班班員：鶴岡慎悟 船津靖亮 急式政志 加藤智美 猪山和美 野本伊織
小川弘美 並木幸子 稲山拓司

8 研修内容の概要・感想など

本研修会は、「知らなきゃ損！？」というメインタイトルで、例年技術的な内容に着目し、これから病理細胞診検査に携わる新人技師を主な対象とした研修会を開催している。今回で12回目となる研修会のテーマは「新人さん必見！標本作製と細胞診染色～」であり、小川氏と野本氏によって、細胞診の基礎的な事項について講演が行われた。

講演1では、小川氏が「検体処理と標本作製のまとめ」と題して講演を行った。体腔液や穿刺吸引検体を中心とした細胞診標本作製のポイントや、標本作製過程におけるエラーやピットフォールについて解説された。加えて、泌尿器検体におけるLBC PREP™法についても紹介された。参加者からは、自施設のLBC法の実施状況や方法に関する質問があり、活発な討議がなされた。中でも、標本作製における重要なポイントとして、自身で作製した標本を鏡検し都度評価していくことが、標本作製の上達するポイントであり、習慣付けることが重要であるとのことであった。

講演2では、野本氏が「細胞診染色のいろは」と題して、細胞診染色についての講演が行われた。染色の基本となる通常染色（Papanicolaou染色・Giemsa染色）や特殊染色について、原理から精度管理、トラブルシューティングまで幅広い内容が説明された。特に、Papanicolaou染色の精度管理は、各施設で実施状況や方法などが異なるため難しい現状にあるが、野本氏による自施設での実施方法の紹介は、精度管理に役立つ内容となった。講演全

体を通して、繰り返されていた「染色はやさしく丁寧に」「精度管理は施設と自分」というポイントに注意し、染色業務にあたることが重要であるとのことであった。

これから細胞検査業務に携わる技師の方には、今回示された心構えと作製・染色のポイントを基に日々の研鑽を積んでいただきたいと思う。

提出日：2023年5月19日

文責：稲山拓司